

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和元年 6 月 1 9 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所 愛知県刈谷市野田新町2-302-1	
氏 名 株式会社 神 真 組	
代表取締役 神 谷 鎮 宏	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0 5 6 6 - 2 1 - 1 1 2 5	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	株式会社 神真組
事 業 場 の 所 在 地	愛知県刈谷市野田新町 2 - 3 0 2 - 1
計 画 期 間	平成 3 1 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	0 6 総合工事業
②事 業 の 規 模	元請完成工事高 3 0 , 0 0 0 万円
③従 業 員 数	2 5 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	道路築造工事及び下水道工事 取壊工 → がれき類 雑 工 → 木くず、廃プラスチック

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

各工事担当者

産業廃棄物処理責任者

マニフェスト管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず、廃プラスチック
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 包装材の軽減及び資源の再利用

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	出来るだけ資源の再利用し排出の極力排出の抑制しました。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自社において再利用加工等が出来ないか検討します。		
	※事務処理欄		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度（ 30 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類 A s 塊	がれき類 C o 塊	木くず	廃プラスチック	汚泥	石綿
	排出量	2092.50t	315.00t	3.00t	6.08t	38.06t	0 t
	（これまでに実施した取組）						
	施工方法の見直し						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類 A s 塊	がれき類 C o 塊	木くず	廃プラスチック	汚泥	石綿
	排出量	2000.00t	300.00t	3.00t	3.00t	30.00t	0 t
	（今後実施する予定の取組）						
	工事単位において、発注者と事前に協議・調整を行い 発生量の軽減に努めます。						

①現状	【前年度（ 30 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類 A s 塊	がれき類 C o 塊	木くず	廃プラスチック	汚泥	石綿
	排出量	2092.50t	315.00t	3.00t	6.08t	38.06t	0 t
	（これまでに実施した取組） 施工方法の見直し						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類 A s 塊	がれき類 C o 塊	木くず	廃プラスチック	汚泥	石綿
	排出量	2000.00t	300.00t	3.00t	3.00t	30.00t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 工事単位において、発注者と事前に協議・調整を行い 発生量の軽減に努めます。						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（ 30 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類 A s 塊	がれき類 C o 塊	木くず	廃プラスチック	汚泥	石綿
	全処理委託量	2092.50t	315.00t	3.00t	6.08t	38.06t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量	2092.50t	315.00t	3.00t	6.08t	38.06t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	（これまでに実施した取組） 出来るだけ資源の再利用し排出の極力排出の抑制しました。						

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類 A s 塊	がれき類 C o 塊	木くず	廃プラスチック	汚泥	石綿
	全処理委託量	2000.00t	300.00t	3.00t	3.00t	30.00t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量						
	再生利用業者への処 理委託量	2000.00t	300.00t	3.00t	3.00t	30.00t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量						
	(今後実施する予定の取組)						
	自社において再利用加工等が出来ないか検討します。						